特定非営利活動法人Joint Joy 2020年度の事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 Joint Joy

１　事業の成果

　　**総括**…コロナ禍の中、感染予防を重点に置きつつ、福祉サービス事業と食品製造販売に関わる事業を継続することができました。保護者職員及び関係者、お客様の協力もあり、感染者もなく収益事業の落ち込みを最小限に食い止め1年を無事に過ごすことができました。

**人材育成**…NPO法人の運営にとって必要な「一人一人が事業を進める力をつける」ための研修を継続しました。気づきや疑問が次の行動となり、試行錯誤を繰り返しながら個人の成長を促す、それが事業を発展させていく。Joint Joyの未来の担い手を育てる内容をさらに進めました。

　　また利用者については、企業就労した２名が定着支援を利用しながら継続しています。B型利用者については新規利用者が増え、定員満の状態となりました。お一人お一人の成長も見られるようになり、「自己覚知から気づきと行動」の支援が生かされる場面も増えてきました。また、ハンデのある方の工賃向上という視点では、収益事業の強化を進めるため、「ヤマト福祉財団」の研修を継続し、売り上げの向上に取り組みました。

　　**地域との連携**…については、山城圏域・八幡市における就労支援部会・精神部会・農福関係などに参加予定でしたが、中止あるいはリモートでの状況報告程度にとどまりました。八幡市社会福祉協議会の「見守り懇談会」にて日頃の見守りを兼ねた弁当配達の実情をお話ししました。緊急事態宣言中などの中で、孤立しがちな高齢者宅への弁当配達は地域の包括支援センターなどとの連携が多く、今後につながる活動となりました。

事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事 業 名(定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | 1. 当該事業の

実施日時1. 当該事業の

実施場所(C)従事者の人数 | (D)受益対象者の範囲(E)人数 |
| 1. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業の運営
 | ○福祉サービス事業就労訓練の継続を行いました。2020年度は、コロナ感染予防を優先させ、通所形態に工夫をしつつ、夏以降は平常に戻し、濃厚接触状態を防ぎながらの支援となりました。各家庭や職員関係者の努力もあり、感染者を出さずまた、就労支援事業の売り上げを落とさず、無事に運営が続けられました。・自主製品の製造販売おむすび　通年１０〜１５種惣菜弁当　日替わりにて１種類焼き菓子　通年ケーキ１０～１５種クッキー１２～１４種　和菓子　　半生関係の菓子　２～３種くみひも　（ストラップ　靴ひも　キーホルダー　眼鏡ストラップ）・喫茶運営（テイクアウトのみ）・農作物の管理収穫を行い、惣菜弁当や菓子の原材料に使用しました。収穫が多い時は、店頭にて販売しました。ミニトマト　オクラ　トウガラシ　ピーマン　かぼちゃ玉ねぎ　じゃが芋　さつま芋　等・自主製品の販売先　自店舗　JA四季彩館　八幡市地下食堂「ぽんた」内　「旬の駅」直売所　精神科医院サロン内　インターネットによる販売・定期的なアセスメントとモニタリング及び日常の支援から、個々の目的を明確にしながら個別支援計画を作成し、お一人お一人の目的に合わせた就労訓練ができるように進めました。・工賃の支払いについて、評価方式を継続し個々の目的を達成していくためのやりがいにつなげていきました。　2020年度支払総額5,002,122円、工賃をお支払いしました。2019年度より約10％の工賃支払額が増加しました。・例年ならば学習とリフレッシュを目的としたレクレーションを実施するところですが、コロナ感染予防のため、実施することはできませんでした。 | (実施日時)通年（場所）八幡市男山竹園2-1A03-110 　〃　 2-1A03－102　　 〃 2-1A03-111京都市伏見区淀 畑八幡市岩田　畑（その他施設外場所）大阪府「関西記念病院」内その他（人数）3月末現在常勤職員　9名非常勤　　2名ボランティア2名利用者　　27名　(登録)　  | 身体・知的・精神の手帳を持っている方と医師の診断によりサービス提供が受けられる方高齢者の雇用　2名　　 |
| 1. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業の運営
 | 〇指定計画相談事業を継続しました。　　就労訓練を利用する方を中心に登録され、日中活動をベースに利用計画を作成しモニタリングを行いました〇就労定着支援事業を行いました。　企業就労した2名について、定期的な企業との打ち合わせと本人との面接をお行い、就労の定着をすすめました。 | 登録者14名利用者14名登録者2名利用者2名 | 身体・知的・精神の手帳を持っている方と医師の診断によりサービス提供が受けられる方 |
| 1. 地域と連携しながら障がい者の社会参加や自立支援を促進する事業
2. 地域住民との交流事業
3. 情報交換とネットワーク構築
 | ・竹園商店街会員の継続と協力。・八幡市自立支援協議会内の就労部会及び精神部会に参加予定でしたが、八幡市障がい者計画策定への出席のみとなりました。・山城圏域障がい者就労サポートチーム「はちどり」会議は、リモートで出席し、近況報告を話し合いました。・八幡市観光協会、八幡市商工会の会員を継続し、情報の収集をすすめました。・今年度は3回の中小企業同友会の学習会に参加し、経営の神髄と幅広い分野で学びと交流を行いました。・惣菜弁当の戸別配達…男山団地Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ 棟中心に惣菜弁当の個別配達時の見守りを兼ねながら行いました。また、ルート上で可能な範囲で配達先を広げています。・見守りをかねた弁当配達の内容について、八幡市社会福祉協議会の「絆ネット地域懇談会」に招かれ報告を行いました。その会に参加されていた方を含め、さらに地域との連携が深まりました。・イベント販売は感染予防のため中止としました　10月　円福寺　万人講　のみ参加　・福祉関係機関、支援学校からの利用希望、実習希望者を中心に必要に応じて感染予防を行いながら、見学を受け入れました。 | 通年就労部会　毎月第3木曜精神部会　親の会　毎月はちどり会議　奇数月中小企業　毎月第3水曜　他弁当事業　毎週月～金2021.3.30　生涯学習センターにて | 地域に住む方お客様身体・知的・精神の手帳を持っている方と医師の診断によりサービス提供が受けられる方利用者職員 |
| 社会福祉の増進を図るための啓発事業及び人財育成事業 | 〇啓発など・出店などによりハンデのある方に対する就労について啓発活動を行いました。・事業内容をホームページ、フェイスブックにより開示しました。・お弁当チラシ「Ｊ・Ｊ　ＰｏＰ」にて毎月近況報告を発信しました。・ニュースレター「Joyたより」の発行を行いました。〇人材育成、地域取り組みなど・スーパーバイザーによる「仕事をする上での気づきの必要性」を中心に研修会を行いました。8回（年）・相談支援現任者研修（1名）・創業フォローアップ改善の進め・ハサップ、食品表示法の改正について2020年度は研修等への参加を最小限にとどめ、内部での気づきの場をつくるように進めました。新しい職員の確保を行いながら、中長期計画の中で活躍できる人材の育成に力を入れました。 | 通年毎月1回年3回年9回 | 地域住民企業利用者法人関係者 |
| 1. その他、法人の目的を達成するために必要な事業
 | ・八幡高校授業協力（おむすびアイデアから商品化へ）2020年度はメールでの評価発表となりました。 | 2021年3月 |  |